



## 「ローズクィーンかのや」決定!

鹿屋 吾平 輝北 串良

3月20日、鹿屋商工会議所でローズクィーンかのやの選考会が行われました。

「ローズクィーンかのや」は、「ミスかのや」の名称を今年度から変更したもので、任期も2年間に延長されます。

選考会には、28人が参加。「ローズクィーンかのや」に選ばれたのは、杉村信子さん（西原2丁目）、原口理紗さん（新生町）、川村亜実さん（横山町）の3人。「かのやばら園など、鹿屋の魅力を全国にPRしていきたい」と抱負を話してくれた3人は、かのやばらまつり2007春からの活動でデビューし、2年間鹿屋市のPRを行っていきます。



原口理紗さん



杉村信子さん  
(代表クィーン)



川村亜実さん

## 鹿屋 KANOYA 災害時の応急対策に 関する協定を調印



市内の土木、造園、建築、電気工事業者の団体と鹿屋市が「大規模災害時における応急対策に関する協定」を結び、3月27日と30日、鹿屋市役所で調印式が行われました。

この協定は、台風、地震等の災害時に、市が同団体に対して道路などの応急復旧や障害物の除去などの協力を要請できるという内容。各団体の技術力と機動力で市民の安全確保などに大きく貢献できると期待されています。

## 串良 KUSHIRA 『ギャラリーやねだん』で 個展を開催



3月25日～31日まで、整備した空き家(迎賓館)に芸術家を迎え入れる計画を進めている柳谷町内会で、移住した3人の芸術家による初の個展が開催されました。

空き家を利用した『ギャラリーやねだん』には、10人の子供たちと2人の画家が壁に直接描いた縦2m、横10mの大型壁画をはじめ、約300点の絵画や陶器を展示。会場には、住民など多くの人々が来場し、芸術作品を堪能していました。

## 鹿屋 KANOYA オガタマノキを寄贈



3月18日、市内で製材業を営む宮地節夫さんが、展示用に加工した直径約1.8m、厚さ25cm、重量約1tのオガタマノキ（小賀玉木）を小野原町内会に寄贈しました。

この木は、もともと小野原町にあった樹齢約600年の神木。倒木したため売りに出されていたものを、宮地さんが市場で偶然にも競り落としたことから、「育った場所に帰りたいかたのたものでは」と考え、同町内会に寄贈したものです。